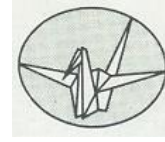




# 被団協



● 発行所  
 北海道被爆者協会  
 札幌市白石区平和通  
 17 丁目北 6-7  
 北海道ノーモア・ヒバクシャ会館内  
 TEL/FAX 011-866-9545

北海道版

北海道被爆者協会

ホームページ <http://h-nomore-hibakusha.org/>

メール dohidankyo@poppy.ocn.ne.jp

## ―核兵器禁止条約採択5周年― いき高く核兵器廃絶を訴え続けよう！

### 2022年夏、ウィーン

議等で被爆者が訴える様々な機会がありました。

#### 第1回締約国会議開かれる

6月21〜23日に開催された核兵器禁止条約の締約国会議は、力強く医師で被爆者でもある長崎の朝長昌志さん（東京都）の2名の派遣に限りませんでした。各県からの代表派遣はありませぬ。それでも現地ではICANがセットした市民集会や開催国オーストリアが主催した国際会議が主催した国際会議 気候変動対策を、など国連が決めた

80か国以上が発言し、それぞれが核抑止論の破綻を指摘しました。

器禁止条約の締約国会議は、力強く医師で被爆者でもある長崎の朝長昌志さん（東京都）の2名の派遣に限りませんでした。各県からの代表派遣はありませぬ。それでも現地ではICANがセットした市民集会や開催国オーストリアが主催した国際会議 気候変動対策を、など国連が決めた

#### 青年たちの新しい動き

また各国から参加した青年たちです（いずれも3月末現在）。私は217名、平均年齢は85.38歳です（いずれも3月末現在）。私は

ちには、残された時間を「再び被爆者をつくるな、核兵器の廃絶を」と訴

17の開発目標にも触れて、持続可能な社会のためにも核兵器は廃絶すべきだと主張していました。戦争体験のない青年たちの新しい動きは注目すべき出来事です。

#### 「信じられない」日本の不参加

日本がオブザーバー参加もしなかったことに対し「信じられない」との声があちこちから聞こえ、ICANのベアトリス・フィン事務局長も「不参加では橋渡し役になれない」と日本を批判しました。

全国の被爆者数は今年12万人を割りました。そのうち北海道は217名、平均年齢は85.38歳です（いずれも3月末現在）。私は

私たちがこれからは核兵器の廃絶を訴えていく」と述べました（写真下）。

金子廣子さんは「憲法があつて非核三原則を守ってきたから日本は戦争せずにここまで来ることができた。私たちがこれからは核兵器の廃絶を訴えていく」と述べました（写真下）。

#### 街頭で訴える

5月8日に礼文島を出発した国民平和大行進。幹線コースが21日札幌市に集結。被爆者協会も5名が参加、廣田凱則さんは「ロシアもアメリカも中国も一発の核兵器も許され

### 廣田凱則さん を会長に選出

（7歳の時長崎で被爆）



被爆者協会の今年度総会が3年ぶりに対面で開催され、前年度事業報告と決算、今年度事業計画と予算を満場一致で承認、会長に廣田凱則さん（昨年度会長代行）を選出しました。

そして核兵器を「抑止力」として軍事的対立が引き起こされる今だからこそ、核兵器廃絶のため自らの被爆体験を語り続けようと確認しました。

廣田さんは札幌市被爆者の会会長、中央被団協の代表理事も務めます。「核兵器でどうしようとするのは絶対にダメ」と強調します。

